

新庄信用金庫レポート

DISCLOSURE (令和元年9月末)

SHINJO SHINKIN BANK

ごあいさつ

信用金庫は、協同組織形態の地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本に、その社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から、高い信頼と信認を得てまいりました。

現下の金融環境・経済におきましては、国外については、米中間の通商問題や欧州情勢等の政治的な不確実性、世界経済の減速に対する懸念もある一方、国内では日本銀行による「マイナス金利政策」が4年目に突入する中、相次ぐ自然災害による影響や、今年10月に実施された消費税増税に対する国内需要の影響など、経済環境は厳しい状態となっております。

また、地区内景況においても、依然として中央との経済格差が拡大傾向にあり、深刻な状況が続いております。

以上の経営環境のもと、お客様との「共通価値の創造」構築に向けて、地元になくてはならない金融機関として『地域社会の繁栄に貢献する』ことを経営理念とし、役職員一致協力して努力する所存であります。

今後とも、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

令和元年11月

理事長 井上 洋一郎

CONTENTS

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）
2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項
3. 預金・貸出金の状況（残高）
4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）
5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）
6. 総代会の機能・総代の氏名等
7. CSR進捗状況
8. 地域貢献
9. トピックス

（記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません）

1. 金融再生法ベースの債務者区分による開示（単体）

（単位：百万円）

債務者区分※	令和元年9月末	平成31年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	969	971
危険債権	2,178	2,440
要管理債権	47	49

（注） 上記の令和元年9月末の計数は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規制」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数と異なるため、計数は連続しておりません。

- 令和元年9月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、平成31年3月末時点における債務者区分を前提とし、3月末から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに債務者区分の引下げ等があった債務者について、当金庫の定める自己査定基準に基づき債務者区分の変更をしております。この場合、債務者区分が下方へ変更になった場合を対象とし、債務者に対する債権額を新たに加算、元の債務者区分欄から減額しております。
- 令和元年9月末の「要管理債権」の金額は、3月末時点における債務者区分を前提とし、3月末から9月末の間に正常先、要注意先の債務者に対する債権のうち①新たに3ヵ月以上延滞となった債権、②新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加算し「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」に変更になった金額を減算しております。
また、3月末時点の自己査定金額を基準として、半期中の増減額を勘案しております。

※ 債務者区分

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- 危険債権（破綻懸念先）
- 要管理債権（要注意先のうち、利払いが3ヵ月以上延滞しているか、貸出条件を緩和している債権）

2. 自己資本の構成に関する主な開示事項/定量的な開示事項

（単位：％、百万円）

項 目	令和元年9月末	令和元年9月末 （経過措置による不算入額）	平成31年3月末	平成31年3月末 （経過措置による不算入額）
単体自己資本比率	12.15	-	11.64	-
コア資本に係る基礎項目の額	5,247	-	5,180	-
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	8	-	5	-
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	-	-
前払年金費用の額	107	-	104	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額	116	-	110	-
自己資本の額	5,131	-	5,069	-
リスク・アセット等の額の合計額	42,224	-	43,538	-
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,562	-	1,614	-
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	126	-	126	-
単体総所要自己資本額	1,688	-	1,741	-

3. 預金・貸出金の状況（残高）

（単位：百万円）

	令和元年9月末	平成30年9月末	平成31年3月末
預金	70,531	69,735	69,135
貸出金	40,553	39,899	40,224

4. 貸出金の内訳（業種別区分残高）

（単位：百万円）

	令和元年9月末	平成30年9月末	平成31年3月末
製造業	2,392	2,354	2,505
農業、林業	657	561	578
建設業	3,071	2,934	2,851
電気、ガス、熱供給、水道業	9	1	10
情報通信業	53	18	56
運輸業、郵便業	347	385	360
卸売業、小売業	2,270	2,284	2,234
金融業、保険業	1,869	1,788	1,658
不動産業	7,915	7,822	8,150
物品賃貸業	23	30	29
学術研究、専門・技術サービス業	14	18	16
宿泊業	632	679	658
飲食業	598	597	602
生活関連サービス業、娯楽業	359	378	413
教育、学習支援業	177	161	184
医療、福祉	1,461	1,640	1,589
その他のサービス	3,129	3,105	3,176
小計	24,984	24,763	25,078
地方公共団体	1,701	1,277	1,433
個人（住宅・消費・納税資金等）	13,867	13,858	13,712
合計	40,553	39,899	40,224

（注）業種別区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

5. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：百万円）

	令和元年9月末				平成31年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損
その他有価証券	11,068	△ 368	303	672	12,771	△ 621	209	831
株式	223	△ 60	0	61	248	△ 55	1	56
債券	1,515	9	13	3	406	4	4	-
その他	9,329	△ 317	290	607	12,115	△ 570	204	775

	令和元年9月末				平成31年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-

- （注） 1. 令和元年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、令和元年9月末時点の帳簿価格と時価との差額を計上しております。
 2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は、決算上に影響しません。

6. 総代会の機能・総代の氏名等

【総代会の機能について】

総代会は、当金庫の会員の中から定款に定める方法によって選任された総代で組織される最高意思決定機関です。

【総代の氏名等について】（令和元年9月30日現在）

1. 総代の氏名等

選任区域	人数	氏名・就任年数（丸内数字）
新庄地区	36名	藤田 敏雄 ^⑪ 森 俊明 ^⑦ 沼澤 正則 ^⑩ 涌井 正和 ^⑦ 山科 昭雄 ^⑩ 涌井 洋一 ^⑦ 阿部 浩悦 ^⑩ 結城 敏夫 ^⑥ 江口 好彦 ^⑪ 白倉 周二 ^⑪ 菅 信二 ^⑩ 阿部 茂 ^② 長倉 洋一郎 ^⑪ 井上 孝一 ^② 吉田 慶一 ^⑥ 日下 修一 ^② 片岡 潤二 ^⑥ 奥山 貴裕 ^② 富樫 利宏 ^⑩ 井上 和郎 ^② 阿部 克 ^⑥ 大場 清文 ^② 井上 貞治 ^⑧ 柿崎 千恵 ^② 赤松 正文 ^⑦ 武田 一夫 ^② 伊藤 雄一 ^⑦ 佐々木 新一郎 ^② 佐藤 啓 ^⑦ 津藤 真知子 ^② 田澤 雅宏 ^⑦ 沼澤 孝典 ^② 長南 雅行 ^⑦ 梁瀬 幹子 ^② 早坂 幸久 ^⑦ 加藤 秀幸 ^②
最上郡地区	16名	佐藤 景一郎 ^⑪ 青柳 富士男 ^⑦ 川田 幸一 ^⑨ 星川 新一 ^② 庄司 和敏 ^⑦ 笹原 洋雄 ^② 熊谷 市夫 ^⑥ 寒河江 宏一 ^② 高橋 智之 ^② 佐々木 重四郎 ^⑨ 山科 義行 ^② 大場 利秋 ^⑩ 柴田 清正 ^⑥ 大石 紳一郎 ^② 岸 伊和男 ^⑪ 佐藤 隆 ^②
天童・大石田地区	14名	有路 好彦 ^⑨ 山口 孝之 ^⑨ 庄司 正彦 ^⑥ 荒木 正憲 ^⑦ 吾妻 正章 ^② 土屋 昭智 ^② 狩野 一康 ^② 設楽 勇吉 ^② 大場 和敏 ^② 矢吹 栄修 ^② 富樫 正一 ^② 村山 与四郎 ^⑩ 芳賀 義隆 ^② 八鍬 隆正 ^②
河北町地区	1名	工藤 信策 ^②
庄内町地区	1名	鈴木 富士雄 ^②

2. 総代の属性別構成比

職業別	比率（％）
法人代表者	57.35
個人事業主	26.47
個人	16.17
合計	100.00

年代別	比率（％）
40～49歳	5.88
50～59歳	17.64
60～69歳	35.29
70歳以上	41.17
合計	100.00

業種別	比率（％）
製造業	7.35
農業、林業	2.94
建設業	20.58
運輸業	1.47
卸売業、小売業	30.88
不動産業	5.88
学術研究、専門・技術サービス業	1.47
宿泊業	2.94
生活関連サービス業、娯楽業	2.94
医療、福祉	7.35
その他のサービス	16.17
合計	100.00

7. CSR進捗状況

(コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ)

CSRとはCorporate Social Responsibilityの略で、一般的に「企業の社会的責任」と言われます。



日本財団「わがまち基金」を活用した「国産落花生の新産地プラットフォーム構築」と「ジモト・ソーシャル・イノベーター養成」事業を通じて、地域創生の推進に向けて地域の課題解決および地域の明るい未来を実現するために活動中です。

◆ コーポレートガバナンス（企業統治）

・お客様の声に耳を傾けます。

当金庫では、お客様から頂いたご意見等を参考に、様々な活動を行っております。これからも、地域に密着した金融機関を目指すため、ご協力をお願いいたします。

<進捗状況>

- ・社会保険労務士との連携による「個別年金相談訪問」を実施しております。
- ・山形大学「学連携プラットフォーム」に参加し、営業係がお客様から承った課題に応じて最適な専門家を派遣しております。

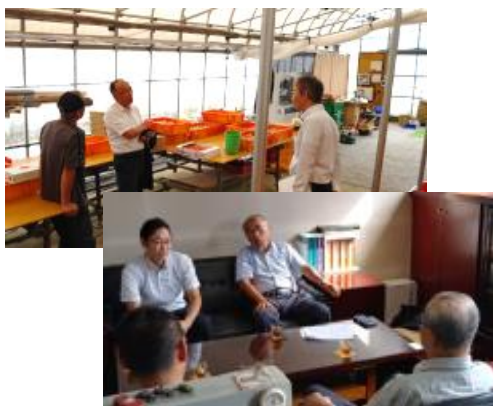
～ご存知ですか？CSR～

企業の事業継続性(サステナビリティ)は財務諸表のみではなく、お客様、職員や地域社会などの存立基盤によって形成されるものであり、こうした多面的な配慮が、企業の将来的な発展には必須の条件であるという考え方です。協同組織である当金庫は、日頃の本業を通じた事業活動そのものが、CSRや、持続可能な開発目標(※SDGs)に対する活動に結び付いております。

※SDGsにつきまして、詳しくは当金庫のホームページをご覧ください。



「山形大学認定産学連携コーディネーター研修・スキルアップ研修」に職員が参加いたしました。現在、18名の職員が産学連携コーディネーターとして認定を受け、うち11名の職員がシニア産学連携コーディネーターとして認定を受けております。



山形大学の柴田孝教授による企業への現場改善・経営相談を毎月実施しております。

◆ ステークホルダー（当金庫を取り巻くあらゆる利害関係者の方々）

・お客様からの相談にアドバイスできるよう努力しております。

当金庫では、お客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様の現状や将来の生活設計に役立てるよう、ご相談機能や、新商品の開発、サービスの一層の充実に向け、職員一丸となってFP(ファイナンシャルプランナー)技能士資格を取得し、努力してまいります。

<進捗状況>

- ・日本ファイナンシャル・プランナーズ協会のAFP資格とCFP®資格取得に向けた取組を継続しております。
- ・大学教授、大手企業経営者による経営塾や、社会保険労務士・コンサルタントによる経営相談を実施しております。
- ・山形大学と共に顧客の課題発掘・解決に関する取組を行っております。

◆ エコロジー・社会貢献

・NPO法人バイオマスものがみの会と共に、バイオマス（生物資源）の利用研究に関する普及啓発活動や、企業の森づくり活動、新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営等、明るく住みよい地域社会づくりに貢献しています。

<里山地域の「森づくり活動」>

- ・163名の参加者で「森の材料で木工体験・遊歩道下刈りと芋煮会」を開催し、全長約700mの遊歩道下刈り整備と、森の材料で木工体験を行いました。
- ・NPO法人バイオマスものがみの会主催「薪供給者拡大に向けた集材・搬出研修会」として、20名の参加者にてポータブルロープウィンチ、小型林内作業車を用いた集材・搬出研修会を行いました。

<新庄「小さな親切」の会の新庄事務局の運営、絵画コンクール等>

- ・当金庫敷地内において、献血バスによる近隣の住民対象の献血活動を行いました。
- ・第6回「東北・夢の桜街道」絵画コンクールを開催し、表彰式を行いました。



8. 地域貢献

新庄信用金庫と地域社会

～ 地域に根ざしたコミュニティバンクをめざして ～

< 当金庫の地域経済活性化への取組みについて >

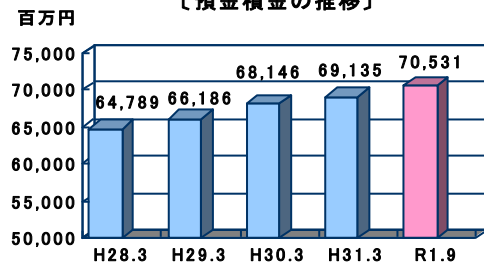
当金庫は新庄市、最上郡、北村山郡、尾花沢市、東根市、村山市、天童市、山形市、寒河江市、河北町、庄内町を事業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活向上のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

◆預金積金残高【70,531百万円】

当金庫では、地域のお客様の堅実な資産づくりのお手伝いをさせていただいております。より多くのお客様からご利用いただけるよう新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

〔預金積金の推移〕

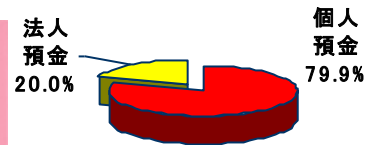


◆「えほん定期」(夢がかなう本)

えほんの主人公に、お子様等のお名前が入った、世界でたった1冊の自分だけのオリジナル絵本をプレゼントします。



〔預金者別預金残高〕



新
庄
信
用
金
庫

地
域
の
お
客
様
／
会
員
の
皆
様

預金積金／出資金

「地元」で預けて頂いたお金は「地元」へ。

貸出金／支援サービス

◆貸出金残高【40,553百万円】

預金積金に対する割合【57.4%】

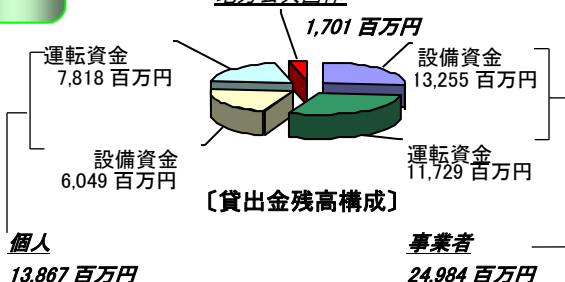
地元のお客様からお預け入れいただいた預金積金につきましては、お客様の様々な資金ニーズに応え、地域経済の活性化に資するためにご融資を行い、地域社会に還元しております。その結果、個人のお客様を含めた地域の事業者の皆様に対し、総貸出金の約91.1%をご融資しております。※その他は地方公共団体等へのご融資です

◆取引先への支援等

当金庫は、業績低下に苦慮しているお客様には親身になって相談し、打開のための改善策や経営改善計画書等へのアドバイスをするなど、資金面だけでなく生きた支援を心掛けております。

また、お取引先事業経営者への情報提供と、異業種交流・親睦を図る場として「しんきんエグゼクティブクラブ」を運営し、経済・文化講演会や各種セミナー等を開催、お取引先様の発展と繁栄のお手伝いをしております。

地方公共団体



◆新規創業支援

地域の活性化を目的とした創業支援商品「コミュニティビジネスローン」や、街づくりを支援する「NPOサポートローン」がごございます。



9. トピックス

地域貢献・CSR

山形大学・最上総合支庁・市役所・会議所主催の勉強会・会議等や、イベント・コンサートを定期的にレキシントン新庄にて開催・支援を行っております。



学生のインターンシップを受け入れ、茶道や金庫業務を実際に体験していただきました。



講師に林野庁木材利用課長の長野麻子氏を迎え、『最上地域を豊かにする木材利用』をテーマにした「しんきんフォーラム」を開催しました。



日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム拠点構築事業の実施



当金庫は、地方創生に関する取組みとして、山形県との信用金庫連携協定、山形大学との創生研究会設立など、まち・ひと・しごとの創生に向けて活動を行っております。

その中で、日本財団「わがまち基金」を活用した「国産落花生の新産地プラットフォーム構築」と「ジモト・ソーシャル・イノベーター養成」事業に対して1,000万円の助成金交付が財団より決定され、地域創生の推進に向けて地域の課題解決および地域の明るい未来を実現するために活動中です。

新庄商工会議所・新庄信用金庫・山形大学の三者による【会議所・しんきん・山形大学 経営塾】



新庄商工会議所、新庄信用金庫と山形大学の三者が共同して、新庄最上地域の経営者及び後継者を対象とする「経営塾」を開講しております。この経営塾は、地域の皆様の経営力向上とリーダーとしての見識を高めることを目的とした1年間の育成プログラムが用意され、第一線の経験豊富な講師から最新の経営スキルを学び、それぞれの事業を発展させていく方法を学べる内容となっております。

ジモト大学プログラム『ピーナッツの商品企画で将来の自分をGETしよう!』の開催



「SHINJO・MOGAMI ジモト大学」に参画し、『ジモト・ソーシャル・イノベーター』養成を目的として、地域の高校生・大学生・当金庫の若手職員を対象に人材育成を図っております。内容としては、ワークショップ等にて落花生の生産から販売まで携わり、商品化ビジネス（資金調達・商品企画・デザイン・販売等）を学ぶことを通じて対象者にスキルを身に付けて頂くプログラムとなっております。

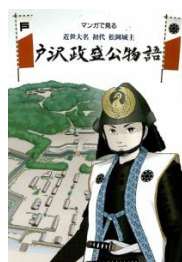
東北最大級のビジネス商談会『ビジネスマッチ東北』におけるお客様支援事業の取組み

当金庫は山形大学と様々な形で連携しております。特に、山形大学工学部、山形大学国際事業化研究センターとの間では、地元中小企業の事業支援のための連携協力協定を締結しております。



ビジネスマッチ東北2019では、顧客企業の出展をサポートしました。

新庄藩祖・新庄市の礎を築いた『戸沢政盛公』の物語漫画本を市内の全小中学校に寄贈



新庄藩祖・新庄市の礎を築いた『戸沢政盛公』の物語漫画本を市内の全小中学校に寄贈させていただきました。この本は、新庄市と友好都市である茨城県高萩市が2013年に発行した「マンガで見る戸沢政盛（まさもり）公物語」を当金庫が重版したもので、藩祖である政盛公の半生がわかる教材として、新庄市制70周年を記念し、郷土の愛着を子供たちに育んでもらう思いを込めて企画いたしました。

やまがた絆の森における里山地域の「森づくり活動」

山形県の森づくりによる二酸化炭素削減の推進、地域活性化などを目指した「やまがた絆の森プロジェクト」において、新庄信用金庫、NPO法人バイオマスもがみの会、山形銀行、山形県、柴草山管理組合、新庄市の6者間で「やまがた絆の森『しんきん結(ゆい)の森・ぐるっと花笠の森【新庄】』」として協定を締結し、活動を継続しております。

このプロジェクトで私どもは、地域住民、企業が気軽に森づくりを行い、活動成果を実感できる仕組みを構築するためにバイオマスもがみの会等と共にコンソーシアムを形成し、下記のような活動を行っております。



令和元年9月29日(日)

「森の材料で木工体験・下刈りと芋煮会」

- 163名の参加者で全長約700mの遊歩道下刈り整備と、森の材料で木工体験を行いました。木工では、材料を実際に森の中で収集し、紅花のドライフラワーを使った『クリスマスリース』制作を行いました。

- 参加団体には、AC. Zeele (エーシー・ゼーレ：サッカークラブチーム)も参加し、小学生からは、「森の中でリース作りの材料を集めた時、自然に触れ合って面白かった。紅花のリースも初めて作った。」と感想が寄せられました。

令和元年11月発行

新庄信用金庫 総合企画室

〒996-0027 山形県新庄市本町2番9号

TEL. 0233-22-4222 (代表)

SHINJO SHINKIN BANK